

# CASBEE® 新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

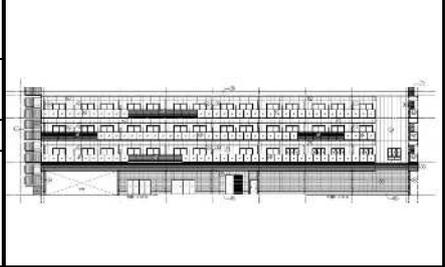
1. 建物概要			
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)株式会社コジマ様複合ビル新築工事 新潟県新潟市中央区有明大橋町17-1,2,15,18,3 近隣商業地域、準防火地域 病院, 2021年7月 竣工 1,201.71 m <sup>2</sup> 707.21 m <sup>2</sup> 2,761.26 m <sup>2</sup> 地上4F S造 実施設計段階評価 2021年7月8日		
2. CASBEE新潟の評価結果			
		B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{41.4}{47.1} = 0.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★			
3. 新潟市の重点項目の評価			
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア <b>3.0</b>		バリアフリー計画 Q2.1.1.3 3.0 維持管理 Q2.1.3 3.0 設備の更新性 Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア <b>2.7</b>		耐震・免震・制震・制振 Q2.2.1 3.0 信頼性 Q2.2.4 2.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア <b>3.0</b>		雨水排水負荷低減 LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア <b>4.0</b>		建物外皮の熱負荷抑制 LR1.1 5.0 自然エネルギー利用 LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア <b>3.3</b>		節水 LR2.1.1 3.0 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 LR2.2.4 3.0 部材の再利用可能性向上への取組み LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア <b>1.5</b>		生物環境の保全と創出 Q3.1 1.0 敷地内温熱環境の向上 Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア <b>2.5</b>		まちなみ・景観への配慮 Q3.2 2.0 地域性への配慮、快適性の向上 Q3.3.1 3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項			
1. 躯体と仕上材を容易に分離可能な工法を採用し、資源の再利用に配慮している。 2. 建築基準法の耐震基準を満たしている構造としている。 3. 建物周囲に適切な水勾配をとり雨対策を施している。 4. 建物周囲に可能な限り緑化地帯を設けている。 5. 躯体材料以外でリサイクル材を採用している。 6. 建物周囲に可能な限り緑化地帯を設けている。 7. 前面の歩行者に圧迫感を与えないよう建物の位置を後退して配置。			

# CASBEE® 新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社コジマ様複合ビル新築工事	階数	地上4F
建設地	新潟県新潟市中央区有明大橋町17-1,2,15,18,3	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	132人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,160時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 竣工	評価の実施日	2021年7月8日
敷地面積	1,202 m <sup>2</sup>	作成者	小林秀彦
建築面積	707 m <sup>2</sup>	確認日	2021年7月26日
延床面積	2,761 m <sup>2</sup>	確認者	小林秀彦



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 88%  
③上記+②以外の 88%  
④上記+ 88%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> エネルギーの高効率化、躯体の耐久性の向上を基本に、標準的な取組みが行われた計画としている。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 界壁・界床の仕様を標準以上とし、F☆☆☆☆以上の内装材を使用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 居室の天井高を高くすることにより、居住空間の広がりをもたせる計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物を敷地境界よりできるだけ後退させ、居住空間に圧迫感を持たせない計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 住戸内に断熱材を施工する他、住戸に庇を設け、温熱環境に配慮した計画としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材を容易に分離可能な工法を採用し、資源の再利用に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐車場をできるだけ確保し、かつ建物への主要なアプローチについては、自転車と入口を別として、駐車場入り口での渋滞緩和に配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される